



避難訓練は「命を守る大切な授業」

5月6日（金）3校時、第1回避難訓練が、田村消防署の今泉様をはじめ4名の署員の皆様に来ていただき、実施することができました。学校は、いつ、どこで、何が起きるかわかりません。今回の火災は、給食室から出火したとの想定で実施しました。

【避難訓練の目的】

1 非常時において、安全かつ敏速な行動がとれるよう、児童に避難方法を十分に理解させ、自ら進んで対応できるようにする。



2 不慮の災害に備えての防火意識を高め、「自分の命は自分で守る」という意識を高める。

● 給食室から出火

① 非常ベルが鳴り響く。職員室火災板の1階西側校舎区域が表示。小川先生に表示区域に行き、状況を確認するよう指示をした。←【消火器は現場近くのを使う】

② 給食室から出火（初期消火不可能）の報告を受け、教頭先生は子どもたちへの避難指示、本柳先生は「119番」通報をする。

③ 子どもたちは避難経路（外の非常階段）に従って体育館前まで避難する。

★ 「体育館前に避難しなさい。」の避難指示から人員確認・報告まで 2分58秒。



【校長の話】

今日の避難訓練は、たった一つの命を守る大切な授業です。平成26年1月から12月までの1年間のデータ（43,632件）から、火災は1日に何件くらい起きていますか。おおよそ1日あたり119件、約12分に1件の火災が発生したことになります。その火災で、1,675人の大切な命が失われました。住宅火災による死者は1002人で、建物火災の出火原因は「こんろ」「タバコ」。

火災でこわいのは何だと思いませんか。校長先生は「煙」だと思いませんか。建物が燃えたと煙が出ますね。この煙は「一酸化炭素」といって「毒」なのです。この煙を吸ってしまうと、手足がしびれて動けなくなります。何がこわいか、「一酸化炭素」は色も臭いもしないところです。この煙を吸わないように、みんなは口をハンカチで押さえましたね。また、煙のスピードはどのくらいか知っていますか。

煙の速さ：廊下を横に行く速さ→毎秒1～2m

【人の歩く速さくらいからジョギングくらい】

：階段を上に行く速さ→毎秒5m

【1秒間に2階分くらいはあっという間に煙が上がってくる】

早いですね。だから、非常階段を使い外に出ました。

お…押さない か…かけない し…しゃべらない も…戻らない



★消火器の使い方

- 1 黄色のピンをぬく
- 2 ホースをしっかりとぎり
火元に向ける
- 3 レバーをにぎる



- ★ 粉が出る時間：15秒（短い！）
- ★ 逃げ道を背にして使用する

★★ 消火器を使っているときに、火が、カーテンや天井にうつったら、すぐ逃げる。

【消火訓練】

「火事だ～」



消防クラブ
手帳の交付





要田小の仲間たち

【綱引き】: 白・赤組「両方がんばれ～」



熱くなれる何かと 一緒に力を合わせる仲間がいれば

$1 \times 2 = 3$ $1 + 1 = 3$ 算数の世界ではもちろんこんな数式は成立しません。しかし、私たちの生活の中では立派に通用するのです。

一つのことについて2倍熱中すると、その成果は2倍以上になって表れます。同じ目的で行動する人が2人いて、力を合わせると3人分ぐらいの力が発揮できます。

考えてみると、私たち一人一人はたいした力がなくても、すぐ大きな力が発揮できるチャンスがあるのだということがわかります。いままでの生活を思い返してみると、そんな経験があることに気づくのではないのでしょうか。

「人は『ノ』（ヒト）と『人』（ヒト）が支え合っている」と「金八先生」で武田鉄矢さんが話していたのを覚えています。

人は成長するにつれ、同じ興味や関心を持つ友人に強い仲間意識を持ち、夢中になって語り合ったり活動したりします。ちょっと失敗しても仲間がカバーしてくれる。弱気になれば励ましてくれる。また、頼りにされていることを感じて生きがいに似た充実感を持つこともあります。そういう心強さを覚えたとき、実により仲間に出会えたと思うのです。

いろいろな人がいますが、同じ活動をしていくうちに、今まで知らなかった面を知ったり、自分でも気づかなかった面を引き出してもらったりします。そうして互いに支え合い、信頼関係を深めていくことになります。そんな中でも、批判しながらも互いのよさを認め、自分を変えるエネルギーを生み出して、一緒に成長していける関係が真の仲間だと思います。

この仲間づくりに、性差や年齢差はまったく問題になりません。かえって広い視野に立って力を合わせることができたりします。学年、学級、行事、委員会、クラブ活動などなど、私たち教師も子どもたちと一緒に活動しているのです。

何かに熱中できるものがあると、人生は楽しくなります。元気に生活が送れるし、いつも張り切っています。積極的にいられるから自然により結果が向こうからやってきたりもするのです。

要田小学校、全校児童47名、全職員11名、一緒に力を合わせることができる

「チーム要田58名」の仲間 で、まずは、「運動会」を成功させましょう。

1×2 が2ではなく、 $1 + 1$ が2ではなく、無限大であるということを実感できるよう頑張りたいですね。**「最後には 喜びあふれる 運動会！」**



「今年の運動会は、47名全員の力を結集し、楽しく思い出に残るものにするぞ。6年生にとっては最後の運動会。8名で団結し下級生をリードして頑張るぞ～」6年生の力を見てください。



下学年リレーの第一走者です。
赤も白もみんながんばれ！

